

【2022年卒】インターンシップの参加経験がある学生は67.3%。

初めて参加した時期は、「3年生の6~8月」が最多。

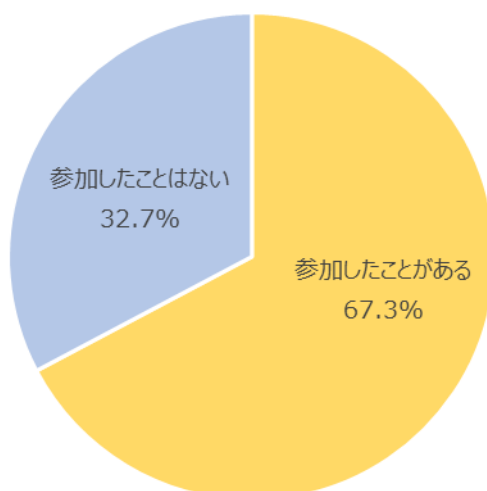
「コロナ禍では、早くから準備が必要だと感じ、夏からインターンシップに参加した」の声。

株式会社学情は、2022年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象に、就職活動に関するインターネットアンケートを実施。今回は、「インターンシップの参加状況」に関して調査しました。インターンシップ（1日仕事体験・業界研究セミナーなど含む）に参加したことがある学生は、67.3%で、約7割の学生がインターンシップへの参加経験があることが分かります。初めてインターンシップに参加した時期は、「3年生の6~8月」の回答が最も多く、「コロナ禍で内定を得るためには、早くから準備をしないといけないと感じ、夏からインターンシップに参加した」などの声が寄せられました。インターンシップの参加方法は「オンライン」が「リアル」を上回る結果となりました。

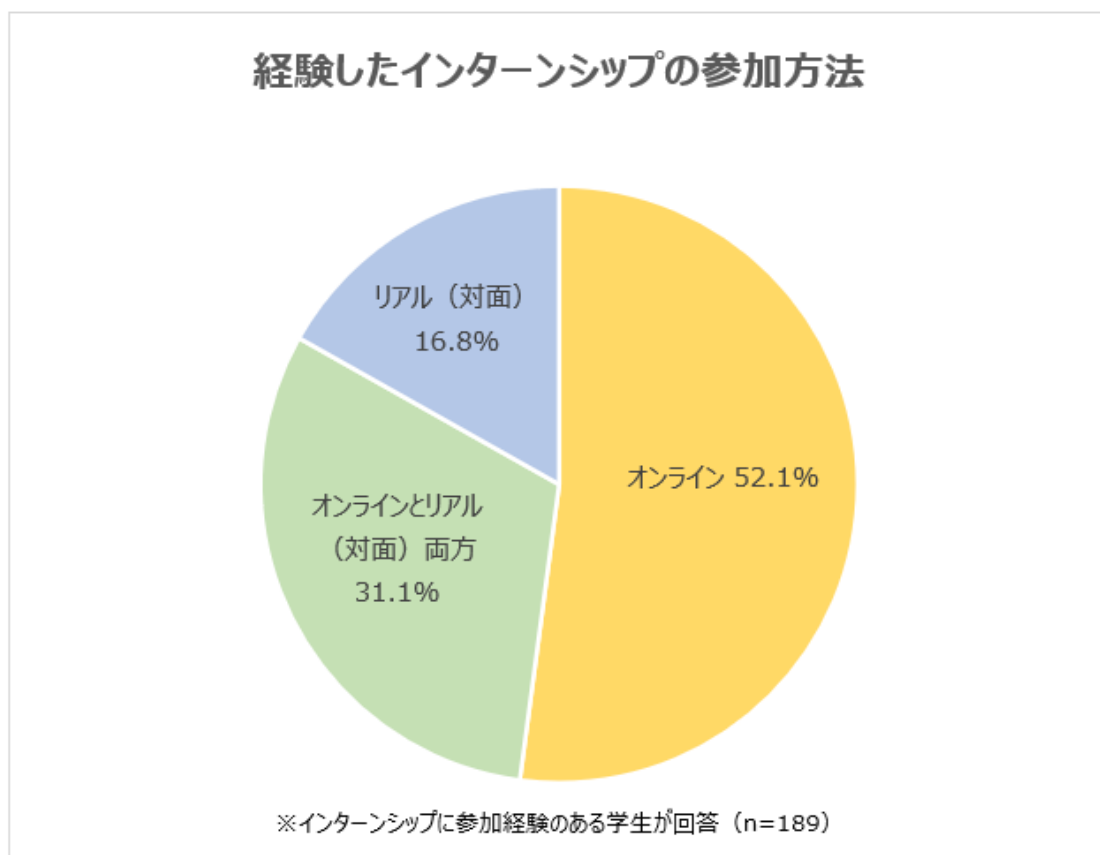
【TOPICS】

- （1）インターンシップ（1日仕事体験・業界研究セミナーなどを含む）に参加したことがある学生は、67.3%
インターンシップの参加方法は、「オンライン」が「リアル」を上回る
 - （2）インターンシップ参加社数は「3~5社」が最多。初めて参加した時期は「3年生の6~8月」が最多
 - （3）インターンシップに応募し、参加しなかったことがある学生は30.9%
-
- （1）インターンシップ（1日仕事体験・業界研究セミナーなどを含む）に参加したことがある学生は、67.3%
インターンシップの参加方法は「オンライン」が「リアル」を上回る

インターンシップ（1日仕事体験・業界研究セミナーなどを含む）への参加経験



インターンシップ（1日仕事体験・業界研究セミナーなどを含む ※以下、インターンシップに統一）に参加したことがある学生は、67.3%で、約7割の学生がインターンシップへの参加経験があることが分かります。経験したことがあるインターンシップの参加方法は、「オンライン」が52.1%で最多。次いで、「オンラインとリアル（対面）両方」31.1%、「リアル（対面）」16.8%と続きました。「オンラインでのインターンシップ参加」を経験している学生は83.2%、「リアル（対面）でのインターンシップ参加」を経験している学生は47.9%となりました。「オンラインだと授業がある日も参加しやすい」「都内から、九州本社の企業のインターンシップにも参加でき、交通費の節約になった」など、オンラインで参加しやすくなったという声がある一方、「リアル（対面）のほうが、オンラインよりも企業の雰囲気の方が分かりやすい」といった指摘もありました。



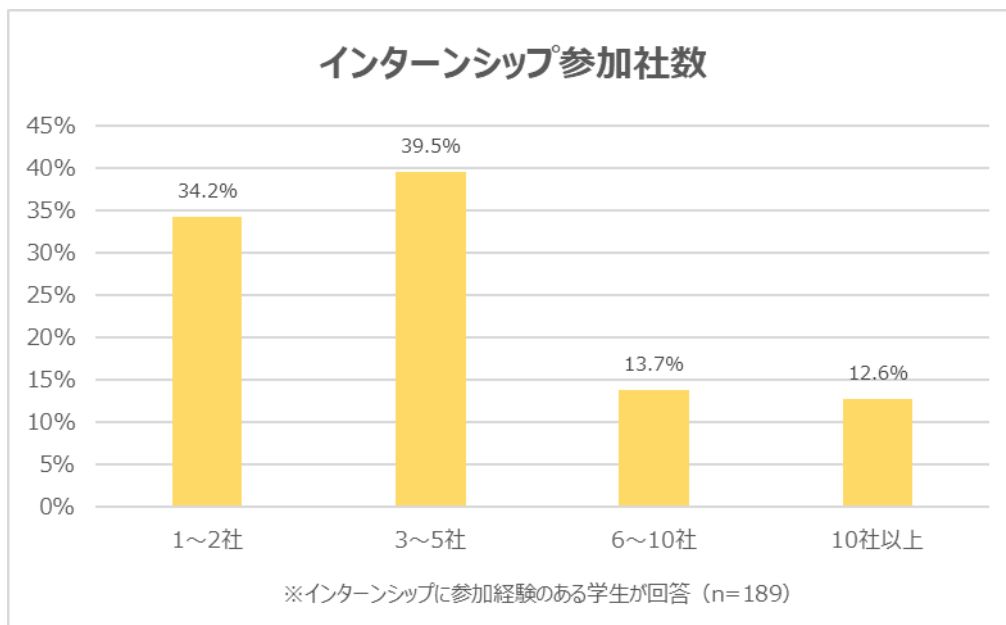
■「オンラインでのインターンシップ参加」の感想

- ・授業がある日も参加できるので、複数の企業のインターンシップに参加しやすい
- ・都内から、九州本社の企業のインターンシップに参加でき、交通費を節約できた
- ・地方から首都圏の企業のインターンシップにも参加しやすく、参加企業の選択肢が増えた
- ・オンライン参加は、受け身で聞いているだけではなく、発言や質問するなど、自分から積極的に参加することが、リアル（対面）以上に求められると思った
- ・業界研究セミナーなど座学中心のものは、オンラインでも理解を深めることができるものの、グループワークなどは発言のタイミングが掴みにくいと感じた
- ・オンラインでも、業界理解や仕事理解を深めることはできるものの、企業の雰囲気は分かりにくい

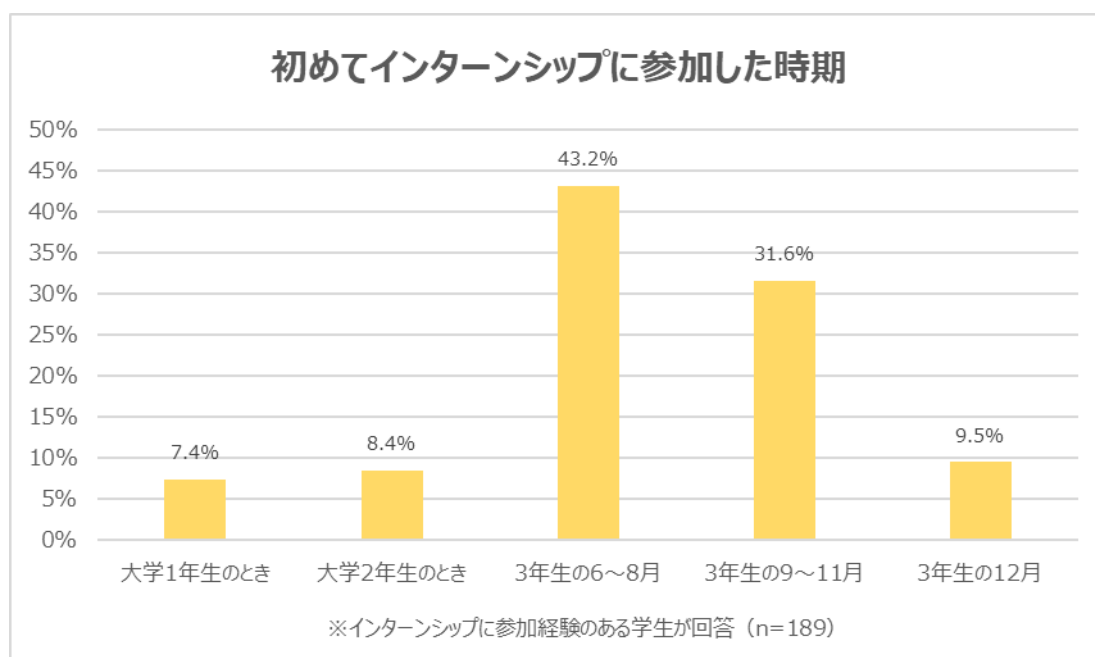
■「リアル（対面）でのインターンシップ参加」の感想

- ・オンラインよりも、企業の雰囲気を掴むことができた
- ・直接社員の方とお話することができ、働くイメージが持てた
- ・参加している学生同士でも情報交換ができて、有意義だった

(2) インターンシップ参加社数は「3～5社」が最多。初めて参加した時期は「3年生の6～8月」が最多

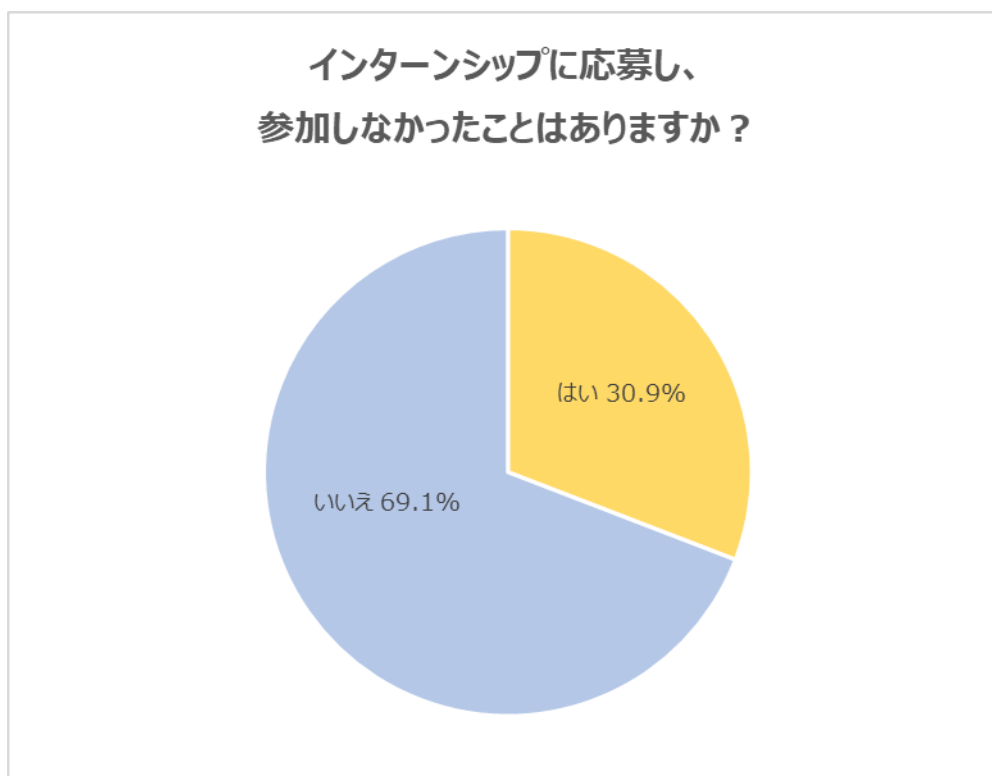


インターンシップの参加社数は「3～5社」が39.5%で最多、次いで「1～2社」34.2%となりました。「10社以上」の参加経験がある学生は12.6%でした。



初めてインターンシップに参加した時期は「3年生の6～8月」が最多で43.2%、次いで「3年生の9～11月」31.6%と続き、多くの学生が3年生になってからインターンシップに参加したことがわかります。学生からは「コロナ禍で内定を得るためには、早くから準備をしないとイケないと感じ、夏からインターンシップに参加した」「夏休みから情報収集や自己分析を開始し、9・10月にはインターンシップへも参加して企業研究をしている」などの声が寄せられ、新型コロナウイルスの影響を意識して企業研究を進めている学生が一定数いることが見て取れました。また、「大学1年生のとき」「大学2年生のとき」も15.8%の回答を集めました。

(3) インターンシップに応募し、参加しなかったことがある学生は 30.9%



インターンシップに応募し、参加しなかったことがある学生は、30.9%でした。参加しなかった理由として、「インターンシップの選考に合格できなかった」「コロナ禍で、リアル（対面）のインターンシップに参加することに不安があり直前でキャンセルした」などの声が挙がりました。

■調査概要

- ・調査対象：「あさがくナビ 2022（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」へのサイト来訪者
- ・調査方法：Web 上でのアンケート
- ・調査期間：2020 年 12 月 22 日～2021 年 1 月 5 日
- ・有効回答数：281 名

東証一部上場

学情

